

授業科目	看護解剖生理学 I	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	1 年次前期	1	講義	15 時間
到達目標	1. 解剖生理学を学ぶための基礎知識を理解できる。					講師
	2. 食物の摂取から消化・吸収に関する消化器官の構造と機能について理解する。					専任教員
	3. 便の生成から排出に関する器官の構造と機能について理解する。					口腔外科医師
	4. 尿の生成から排出に関する器官の構造と機能、体液の調節について理解する。					外科医師 透析科医師
授業計画						
1 回	人体各部の名称 人体の構造と区分 人体の部位と器官 方向と位置を示す用語					専任教員 (2 時間)
2 回	食物の摂取・吸収に関する構造と機能 (味覚を含む)					口腔外科医師 (2 時間)
3 回	食道の構造と機能 腹部消化管の構造と機能					外科医師 (7 時間)
4 回	腹部消化管の構造と機能 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能 (3 時間)					
5 回						
6 回	大腸の構造と機能 (便の生成に関する構造と機能) 便の輸送、排出に関する構造と機能					
7 回	腎臓の構造と機能 (尿の生成に関する構造と機能)					透析科医師 (4 時間)
8 回	排尿路の構造 (尿の輸送、貯留、排出に関する構造と機能) 体液の調節					
評価方法	修了試験 選択肢又は論述問題による筆記試験 専任教員 (10%)、口腔外科医師 (10%)、外科医師 (50%)、透析科医師 (30%) を総合して評価する					
教科書	共通 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 医学書院 口腔外科：系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑤歯・口腔 医学書院 外科医師：系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑤消化器 医学書院 透析科医師：系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑧腎・泌尿器科 医学書院					
参考書	系統看護学講座 専門基礎分野 生化学 医学書院 『系統看護学講座』準拠 解剖生理学ワークブック 医学書院					
備考	予習においてはテキスト、関連書籍の該当ページを熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。復習においてはテキスト・講義資料・参考文献などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深める。					